

「強化方策2015」と社協VCの目指す姿

～社協VCの強みを活かした戦略を考える～

－ 開催にあたって －

- 今日、様々な制度や施策において「ボランティア」「地域住民」を主体として位置づけ、制度では届かない部分を補おうとする動きがある中で、我々社協ボランティア・市民活動センターとしては、あらためてボランティア活動の原則である「自主性・自発性・主体性」を軸とした活動を展開していくことが重要となってきます。
- 全社協ではこの原則と近年のボランティア・市民活動及び社協を取り巻く情勢を踏まえ、全国の市区町村社協のボランティアセンターの今後のあり方を提案すべく検討を重ね、今年8月に「市区町村社会福祉協議会ボランティア・市民活動センター強化方策 2015」を策定し、そのめざすものとして「今日の市区町村社協ボランティア・市民活動センターがめざすものは「誰もがボランティア活動できる地域社会、すなわち誰も排除しない共生文化を創造すること」を使命とし、地域の「支えあう関係」や「つながりの再構築」を基盤に、多様な主体が協働して地域の生活課題を解決していくこと」を示しました。
- 本セミナーは「強化方策 2015」を基本に、社協ボランティア・市民活動センターがもつ「強み」を活かし、これからの社協ボランティア・市民活動センターとして目指すべき姿について、初日のシンポジウム、また各分科会を通して参加者全員で具体的に考えていきます。

期 日 平成 27 年 12 月 15 日（火）～16 日（水）

主 催 全社協／全国ボランティア・市民活動振興センター
会 場 全社協 新霞が関ビル（5 階会議室）（東京都千代田区霞が関 3-3-2）

●地下鉄銀座線「虎ノ門駅」5 番出口より徒歩 5 分

●地下鉄千代田線／丸の内線／日比谷線「霞ヶ関駅」A13 番出口より徒歩 8 分

定 員 100 名

対 象 都道府県・指定都市・市区町村社協ボランティア・市民活動センター職員

参加費 8,000 円（宿泊・昼食等は含まない）

※1 日のみの参加でも同額です。ネットワーキングタイム参加費 1,000 円も含まれています。

※ VC＝「ボランティア・市民活動センター」あるいは「ボランティアセンター」の略

12月15日(火)13:00～18:30 (会場:全社協5階 会議室)

12:00	受付開始
13:00	開会
13:05～13:45 (40分)	開会あいさつ・制度動向 全国ボランティア・市民活動振興センター 所 長 佐甲 学
13:45～14:30 (45分)	説明 「 強化方策 2015 」の策定とポイントについて」 全国ボランティア・市民活動振興センター 副部長 園崎 秀治
14:50～17:00 (130分)	シンポジウム 「 強化方策 2015 」がめざす姿を実現するために ～あらためて「協働」とは何かを考える」 《内容》 「市区町村社会福祉協議会ボランティア・市民活動センター強化方策 2015」の基本理念を実現していくことは、地域のあらゆる生活課題に取り組み、「地域の生活課題に向けた他者協働の場（プラットフォーム）」を作っていくことが必要であり、その中核的な役割を社協 VC が担っていくことが求められます。 そのため社協 VC はこれまでに地域において果たしてきた役割とその強みを再認識するとともに、想定される協働相手の強み・弱み、協働することによるメリット・デメリットを検討した上で、共にまちづくりを進めていくことが不可欠です。 では、「協働」とは何を指し示すのでしょうか。実践事例を基に、あらためて「協働」について考え、社協 VC として主体的に協働相手に働きかけ、「強化方策 2015」の目指すものを実現化していくための考え方、視点について参加者全員で考えます。 【シンポジスト】 荒川区社会福祉協議会 地域ネットワーク課長 鈴木 訪子 氏 北九州市社会福祉協議会 八幡西区社協事務局長 公文 真理亜 氏 【コーディネーター】 日本福祉大学 教授 原田正樹 氏
17:15～18:30	ネットワーキングタイム 情報交換・意見交換・名刺交換など

12月16日(水)9:00~12:30 (会場:全社協5階 会議室)

8:30	分科会受付開始 (各会場)
9:00~12:30	分科会

第1分科会 「社協 VC に求められる“コーディネーター”を考える」

【コーディネーター】
日本福祉大学 教授 原田正樹 氏

【事例報告者】
岸和田市社会福祉協議会 総務・地域課 地域福祉係ボランティアセンター 青山 織衣 氏
立川市社会福祉協議会 地域福祉推進課地域づくり係長 枝村 珠衣 氏
宝塚市社会福祉協議会 事務局長 佐藤 寿一 氏

《趣旨》
社協 VC において、ボランティアコーディネーターはボランティア個人・団体のマッチングを行うことだけではなく、「誰もがボランティア活動できる地域社会を構築すること」という社協 VC としての理念を実現化するために非常に重要な機能となります。
そのためには地域へ外向き、地域の様々なニーズを受け止め、新たな活動の開発、学びの機会の提供やネットワークづくりなど実に多様な役割だと言われます。その重要性は誰もが理解するところと思いますが、実際にはイメージを具体化するための糸口を探している社協 VC も多いのではないのでしょうか。
それぞれの立場から見えてくる社協 VC に求められる“コーディネーター”の役割、そして未来の社協 VC のあり方を考えていきます。

第2分科会 「社協 VC における情報発信の重要性」

【コーディネーター】
さくらネット 代表理事 石井 布紀子 氏

【事例報告者】
伊那市社会福祉協議会 地域福祉係長 矢澤 秀樹 氏
日本 NPO センター 企画部門長 吉田 建治 氏

《趣旨》
平常時・災害時を問わず、地域の様々な主体と協働して活動するためには、担当者レベルではもちろん、組織間の相互理解やお互いの組織の強み・弱みを把握し、顔の見える関係づくりを日頃から進めていくことが必要です。
では、そのツールの一つである社協 VC としての情報発信として、その時々社協 VC として何を伝えれば良いのでしょうか。また、相手は何を知りたいと思っているのでしょうか。
社協 VC が情報を発信していくための考え方やポイントについて、実践事例なども踏まえながら、「地域の広告塔」としての重要性を考えていきます。

■分科会について

会場の都合により、分科会ごとにご参加いただける人数の制限がありますので、申込書には必ず、第二希望までご記入ください。申し込み状況によっては、第二希望の分科会に振り分けさせていただく場合があることをあらかじめご了承ください。なお、第一希望ではない分科会に入っていた場合は、開催 7 日前までにご通知します。

■申し込み方法

別添申込要領をご参照のうえ、所定の申込用紙に必要事項をご記入いただき、名鉄観光サービス(株)に郵送または FAX にて送付ください。宿泊等の手配がない場合も申込書は同一様式ですので、必ず名鉄観光サービスに申込書を送付してください。開催 7 日前までに参加券等が到着しなかった場合には名鉄観光サービスにお問い合わせください。

ホームページ「地域福祉・ボランティア情報ネットワーク」(<http://www.zcwvc.net/>)からも要項・申込書をダウンロードできます。ただし、いずれの場合も申込書は名鉄観光サービス(株)に郵送あるいは FAX にて送付してください。

■申込締切

平成 27 年 12 月 1 日 (火)

- * 締切日以前でも定員になり次第、締切とさせていただきます。
- * ただし、締切日以降も定員に達しない場合は、定員に達するまで受け付けます

■個人情報について

申込書等に記載された個人情報については、本セミナーの運営目的にのみ使用します。セミナー資料にはお名前、所属、肩書きの一覧表(名簿)を掲載いたします。(年齢、VC 担当経験年数については、分科会グループ編成のために使用し、名簿には掲載いたしません)

なお、事務取扱を委託する名鉄観光サービス(株)と全国社会福祉協議会は個人情報の取り扱いにかかわる覚書をかわしています。

■内容に関する問合せ先

全国社会福祉協議会／全国ボランティア・市民活動振興センター【担当：金谷内・大場】

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL : 03-3581-4656 FAX : 03-3581-7858 eメール : vc00000@shakyo.or.jp

(申込書はダウンロードもできます→<http://www.shakyo.or.jp/gyoumu/>)

■申込先・申込等に関する問合せ先

名鉄観光サービス(株) 新霞が関支店【担当：波多野^{はたの}・山辺】

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビルL B階

TEL : 03-3595-1121 FAX : 03-3595-1119

受付時間 平日 9:30~17:30 土日祝祭日休業